

様式第3

指定管理業務 令和6年度事業評価書(指定管理者及び市作成)

指定管理者名	日本環境マネジメント株式会社		
施設名	岩倉市屋外スポーツ施設(岩倉北小学校運動場照明施設、南部中学校運動場照明施設、野寄テニスコート、野寄スポーツ広場、石仏スポーツ広場)	施設所管課	生涯学習課
指定期間	令和5年4月1日～令和9年3月31日(2年目)		
施設の設置目的	スポーツの振興並びに市民の体力及び健康の増進を図るため。		

評価項目	評価基準	指定管理者			施設所管課			委員会		
		評価		コメント	評価		コメント	評価		
		1年目	2		1年目	2		1年目	2	
		5年度	6		5年度	6		5年度	6	

I 履行の確認

1 施設全般の管理運営に関する業務

(1) 職員配置	基準に基づき、適切に人員配置がされたか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・アデリア総合体育文化センターの職員が兼務し業務に携わりました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・基本協定書に基づき適切に人員配置が実施されていた。	-	B	B
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が行われたか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・社内規定に則り、緊急時対応研修(防災訓練等含)、AED講習、情報セキュリティ研修、個人情報保護法研修を実施いたしました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・必要な研修については、実施され、職員の資質向上に努めていた。	-	B	B
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・アデリア総合体育文化センター内に施設を利用されている各サークルの情報を掲出するなど、情報発信や周知活動に努めました。□	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・客屋外スポーツ施設には掲示板がないため、アデリア総合体育文化センター内に施設を利用している団体の情報を掲出するなど適切に、情報発信が行われていた	-	B	B
(4)市への情報提供	報告等の市への情報提供は、事業計画書等に基づき適切に実施されたか	-	A	B	基準に概ね沿った内容である。 ・毎月の月次報告、半期での事業報告(セルフモニタリング)、年度報告を適宜実施いたしました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・月次報告、事業報告、年度報告等いずれも適切に実施されていた。	-	B	B

2 利用者に関する業務

(1) 受付業務	利用申請の受付、許可書の発行等の業務は適切に実施されたか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・施設の設置及び管理に関する条例、仕様書等に基づき適切に実施いたしました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・日々の施設予約や許可書の発行など利用者に対し、大きなトラブルもなく適切に実施された。	-	B	B
----------	------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(2) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・利用できなかった石仏スポーツ広場を除いて比較しますと、利用件数は対前年比102.5%、利用人数は対前年比104.4%となりました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・利用件数は石仏スポーツ広場を除いて対前年比102.5%、利用人数は対前年比104.4%で増加しており、概ね適切な水準である。	-	B	B
(3) 利用料金(減免・還付含む。)	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・施設の設置及び管理に関する条例、仕様書等に基づき適切に実施いたしました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・岩倉市屋外スポーツ施設の設置及び管理に関する条例、年度契約書、仕様書に基づき適正に実施された。	-	B	B

3 保守点検及び維持管理業務等

(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・仕様書で定められた業務を適切に実行いたしました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・仕様書で定められた業務は事業計画書に基づき履行された。	-	C	B
(2) 清掃業務・維持管理業務	基準に基づき、清掃その他維持管理業務が適切に実施されたか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・仕様書で定められた業務を適切に実行いたしました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・仕様書で定められた業務は事業計画書に基づき履行された。	-	B	B
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に実施されたか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・仕様書で定められた業務を適切に実行いたしました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・岩倉市屋外スポーツ施設の設置及び管理に関する条例、年度協定書、仕様書に基づき適正、適切に遂行された。	-	B	B
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・施設所管課へ連絡後に修繕を実施し、結果を報告いたしました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・当課への承認後に修繕実施し、その報告を行うという一連の手続きを徹底しており、限られた修繕予算内で、複数個所の修繕を実施できた。	-	B	B

4 事業の実施に関する業務

(1) 指定事業	基準に基づく事業が適切に行われたか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・仕様書で定められた業務を適切に実行いたしました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・仕様書で定められた業務を事業計画書の年間計画に基づき適切に履行した。	-	B	B
(2) 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が適切に行われたか	-	C	C	内容の一部に課題がある。 ・施設の運営、維持管理に終始し、本年度は未達に終わりました。	-	C	C	内容の一部に課題がある。 ・管理業務についてはおおむね実施されたものの、自主事業については実施されなかった。	-	C	C
5 個人情報の取扱い	個人情報の取扱いが適正に行われたか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・社内規定に基づき適正な取り扱いに努めるとともに職員に個人情報保護研修を行いました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・職員に対し個人情報保護研修を年1回実施しており、日頃の業務で取り扱う個人情報は適正に取り扱われている。	-	B	B

6 設置目的の達成度(管理目標)	管理目標に対する結果は妥当であるか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・事業計画書に基づき、管理目標を確実に実行し、結果は妥当であったと考えています。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・事業計画書に定めた管理目標(履行義務)については概ね履行されていた。	-	B	B
I の総括	《標準評価項目数12本》 当該施設評価項目数15本	-	B	B		-	B	B		-	B	B

II サービスの質の評価

1 利用者満足度(アンケート、利用者会議)	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか	-	C	C	内容の一部に課題がある。 ・屋外施設窓口、アデリア総合体育文化センター内にご意見箱を設置しましたが、利用者個別に対するアンケートの実施は未達に終わりました。	-	C	C	内容の一部に課題がある。 ・屋外スポーツ施設利用者向けのアンケートの実施には至らなかった。よって、利用者からの満足度を計ることはできていない。	-	C	C
2 苦情への対応	寄せられた苦情に対し適切に対応できているか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・苦情に対して、その内容と対処、結果を随時施設所管課に報告し情報の共有に努めました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・苦情に対しては、適正に対応されている。内容についても適宜当課とも情報共有され、十分連携できている。	-	B	B
3 維持管理業務(清掃、備品等の維持管理)	日常清掃業務や衛生管理は適切であるか 備品などの設備の維持管理は適切であるか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・仕様書で定められた業務を事業計画書の年間計画に基づき適切に履行しました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・事業計画書の年間計画に基づき適切に履行された。	-	B	B
4 運営業務(貸出状況、接客態度等)	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用者への接客対応は適切であるか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・仕様書で定められた業務を事業計画書の年間計画に基づき適切に履行しました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・事業計画書の年間計画に基づき適切に履行された。	-	B	B
5 指定事業・自主事業(事業内容の質)	実施された事業内容は、質の高いものであったか	-	B	C	内容の一部に課題がある。 ・指定事業は仕様に基づき適正な実行に努めました。自主事業は施設の運営、維持管理に終始し、本年度は未達に終わりました。	-	C	C	内容の一部に課題がある。 ・指定事業については適正に実施されていたが、自主事業については開催に至らなかった。	-	C	C
II の総括	《標準評価項目数4本》 当該施設評価項目数5本	-	B	C		-	C	C		-	C	C

III サービスの安定性の評価

1 事業収支	事業収支は妥当であるか	-	A	A	基準よりも優れた内容である。 ・収入項目の指定管理料は計画通りとなり、支出項目では消耗品費等を削減したことにより、事業収支の結果は+524,314円となりました。	-	A	A	基準よりも優れた内容である。 ・消耗品費等の節減により、計画の支出額を下回った。	-	A	A
--------	-------------	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---

2 有資格者	業務に必要な有資格者は確保されていたか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・仕様書に基づき確保しました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・基本協定書に基づき、適正に確保された。	-	B	B
3 経理業務	経理事務は適正に実施されているか	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・本社管理システムの運用により適正に実施しました。	-	B	B	基準に概ね沿った内容である。 ・会社独自のシステムによって適正に実施されている。	-	B	B
4 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は、妥当であるか	-	A	A	基準よりも優れた内容である。 ・事業収支の結果は＋524, 314円となりました。	-	A	A	基準よりも優れた内容である。 ・消耗品費等を節減し、計画より支出額を抑えた。経営状況分析指標は妥当である。	-	A	A
5 団体等の経営状況(決算報告)	団体等の経営状況分析指標の結果は、妥当であるか	-	A	A	基準よりも優れた内容である。 ・自己資本比率:79.4%、流動比率:258.7%、固定比率:58.7%、総資本経常利益率:4.75%となり団体の財務状況は健全であると考えています。	-	A	A	基準よりも優れた内容である。 指定管理者の経営状況は、自己資本比率、流動比率、固定比率、総資本経常利益率のいずれも妥当である。	-	A	A
Ⅲ の総括	《標準評価項目数3本》 当該施設評価項目数5本	-	A	A		-	A	A		-	A	A
Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを合わせた総合評価		-	B	B		-	B	B		-	B	B

成果・課題等

	指定管理者	施設所管課
成果	・令和6年度より石仏スポーツ広場が利用できなくなるという大きな変化点がございましたが、2年目として、屋外スポーツ施設の維持管理に注力し、お客さまに快適に施設をご利用いただくことを第一義とした運営を行うことを実践しました。アデリア総合体育文化センターの館長と副館長2名の3名が管理業務の責任を担い、日常的に施設の巡回を行ったほか、現場での受付業務を委託しているシルバー人材センターともコミュニケーションを密に図り、安定した人員配置を行うことができました。	・特に利用者からの大きな苦情、トラブルなく適切に管理・運営が行われており、情報についても当課と速やかに共有されたため、十分に連携を取ることができた。 中でも、施設予約システムの更新時には、十分調整を行い、大きなトラブルもなくシステム移行することが出来た。 軽修繕についても現地確認や、委託を受けたシルバー人材センターからの情報収集をしながら、限られた予算内で修繕すべき箇所に順次対応できている。
課題	・利用者個別に対するアンケートが未実施であったこと、施設を有効活用しての自主事業が未実施であったことが課題となります。これらの課題について真摯に反省し、令和7年度の完全な業務履行に努力してまいります。	・屋外スポーツ施設の利用者向けのアンケート実施がされなかったため、利用者の満足度を計る指標を得ることができなかった。 また、自主事業についても実施がされなかったが、石仏スポーツ広場が利用できなくなったことにより、種目が制限されて調整が難航したようであった。

課題解決のための方策 (協議結果等)		・指定管理者で野寄スポーツ広場・テニスコート用のLINEアカウントの開設を検討している。LINEアカウントが開設できれば、LINE上でWebアンケートを実施することができると思われる。また、自主事業については、ソフトボールは講師と折り合いがつかなかったが、代わりに、いわくら市民健康マラソン前の時期に、野寄スポーツ広場でランニングクリニックを検討している。
-----------------------	-------------	---

指定管理者評価等委員会 評価	B	「Ⅰ 履行の確認」については、基本協定書及び事業計画書どおり適正に管理運営が行われた。また、利用件数、利用者数ともに前年度実績より増加した。 「Ⅱ サービスの質の評価」については、施設や設備の維持管理、スタッフの対応については問題なく実施されたと見受けられるが、利用者アンケート及び自主事業が実施されていない。基本協定書別添1、15(1)を遵守すること。 「Ⅲ サービスの安定性の評価」については、事業収支、指定管理者自身の運営状況についても良好であり、適切に運営されていた。 総合評価として、施設の維持管理等基本的な運営について問題なく実施されているが、利用者アンケートや自主事業の未実施など前年度からの課題が未解決のものがあるため、早急に改善されたい。
----------------	---	--

《評価区分》

①評価項目(細目)の評価基準	A(優 良)＝ 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。(的確に実施されているとともに、様々な工夫がされている。) B(良 好)＝ 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。(的確に実施されている。) C(課題含)＝ 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 D(要改善)＝ 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。 －(非該当)＝ 該当しない又は評価することができない。
②評価項目別総括	A(優 良)＝ 評価項目(細目)が全てB以上であり、かつAが過半数である。 B(良 好)＝ 評価項目(細目)が全てC以上であり、かつB以上が8割以上である。 C(課題含)＝ 評価項目(細目)が全てC以上である。 D(要改善)＝ 評価項目(細目)にDが含まれている。
③総合評価	A(優 良)＝ 目標や計画を上回る成果があり、特に優れていた。(評価項目(細目)が全てB以上であり、かつAが過半数である。) B(良 好)＝ 目標や計画どおりの成果があり、適正な管理が行われた。(評価項目(細目)が全てC以上であり、かつB以上が8割以上である。) C(課題含)＝ 目標や計画を下回る点があり、管理運営に対する努力が必要である。(評価項目(細目)が全てC以上である。) D(要改善)＝ 管理運営が不適切な点があり、業務改善勧告等の措置を講じるべきである。(評価項目(細目)にDが含まれている。)